

中学生連載企画

私たちのふるさと松山学 No.50

桑原中学校

桑原地区で地域巡り

私たちは、総合的な学習の時間で、自分たちの地域の名所や歴史を学び、まちの良さや魅力を発見することができました。

淡路ヶ峠

淡路ヶ峠には自然がたくさんあり、展望台からは海までの美しい景色が見えます。初代総理大臣の伊藤博文も登ろうとしていたといわれるほど、きれいな山です。

山登りは健康にも良く、コースが4つあります。中でも、桑原中学校の裏から登る「青い空坊ちゃんコース」は、緩やかで景色を見ながら登ることができるのでお勧めです。午前中は、かすみがかかっているないので、景色が見やすいです。毎日多くの人が登っていて、休日になると40〜50人くらい登っているそうです。

展望台は、平成9年に桑原中学校の生徒と地域の人たちが協力して作りました。桜を約1000本植えていて、春には桜を楽しむことができます。

展望台の維持

毎年、1年生がペンキを塗って展望台をきれいに保っています。

木と木の間を塗ることが難しく、クラスメートのみなんで一生懸命塗りました。次は後輩たちにがんばってもらいたいです。



(松下煌英)



(玉井杏奈)



繁多寺

四国八十八箇所霊場の一つ。孝謙天皇の願いで行基が開き、国の繁栄を願いました。奈良時代から1200年以上の歴史があります。



地震が起つても大丈夫のように、岩山の上に建っていて、敷地には樹齢100年以上のソメイヨシノが植えられています。首なし地藏や聖人塚など、昔話がたくさんあります。

歴史と特徴

天皇から賜った縦長の旗(幡)があり、昔はばんたじと呼ばれていたという説があります。

インドのガネーシャという神様を祀っています。元々は人間の世を壊す悪い神様でしたが、観音様のおかげで良い神様になりました。

鐘撞堂の天井にある24枚の絵には中国の昔話に出てくる孝行な子どもが描かれています。一遍上人が約3カ月間修行されたそうです。

(中村和希)

桑原八幡神社

400年代に建てられたと言われ、貞観元(859)年に四月八幡宮を合祀し、寛治二(1088)年に現在の場所に移転しました。昭和46年には、三島神社を合祀しました。



主な祭礼として、1月1日には歳旦祭が、7月31日には夏越祭が、10月6日には例祭が開かれます。

必勝祈願、勝運、水難除けなど、御利益がたくさんあります。

12人の神様

- 菅田別尊
- 足仲彦尊
- 息長足姫尊
- 姫大神
- 大山積神
- 雷神
- 高麗神
- 【配祀】
- 天津彦火瓊杵尊
- 木花咲夜姫命
- 岩長姫命
- 菅原道真
- 合祀社神

(相原永和)

畑寺児童館

【こんな素敵な特徴があるよ！】

- おもちゃや床の消毒をこまめに行います
- 季節にあわせたイベントがたくさん!
- スタッフさん手作りのかざりがあります
- 学校の近くですと子供を見守ります
- 子供第一!自由に来館ができます



【今回の地域巡りで学んだこと】

児童福祉法に基づいた、14施設のうち、唯一の自由来館施設...それが畑寺児童館!

児童館 Q.A

- Q. 1日平均何人くらい来ますか?
A. 平日は50人くらいです。
- Q. 利用者の年齢別の割合は?
A. 幼児さん親子が多く、次に小学生、中学生といた感じ。
- Q. どうしておもちゃを借りるとき、名前と時間をかくのですか?
A. おもちゃを大切に使用してほしいのと、小さい子には、字や時間の勉強になるからです。

イベントについて

- 1 クリスマスパティー
- 2 もちつき大会
- 3 ハロウィンパーティー

他にも、幼児向けの読み聞かせや、親子参加型の体そうなどがある。

子供の成長、そして育児をがんばる親を支える、やさしいあふれた畑寺児童館でした!

※イベントは中止になる場合があります

(大場悠月)

ますます桑原が好きになりました!



左から 大場悠月さん、玉井杏奈さん、玉井七奈さん(題字)、中村和希さん、相原永和さん、松下煌英さん (いずれも2年生)

桑原中学校に通うためには、長い坂を登らなければなりません。大変ですが、3年間通学すると、エベレストの高さを超える計算になります。また、淡路ヶ峠にもよく登っています。

四国八十八箇所の一つである繁多寺や、桑原八幡神社があることが誇りです。たまにお遍路さんとも会ってお話をします。

地域の人たちが優しく、いつもあいさつをしてくれてうれしいです。児童館に行くと、他の学校の友達にも会えるし、大人と話すのも楽しいです。

桑原地区のことを勉強して、桑原がますます好きになりました。これからも興味をもって、いろいろなことを調べたいです。